

◎最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃のための即時の行動に関する条約
 (第百八十二号)

(略称) 最悪の形態の児童労働の禁止等に関する条約 (第百八十二号)

平成	十二年	六月	十七日	ジュネーブで作成
平成	十二年	十一月	十九日	効力発生
平成	十三年	六月	六日	国会承認
平成	十三年	六月	十五日	批准の閣議決定
平成	十三年	六月	十八日	批准書寄託
平成	十三年	六月	二十日	公布(条約第七号)
平成	十三年	六月	二十日	告示(外務省告示第一七六号)
平成	十四年	六月	十八日	わが国について効力発生

前	文
第	一	条 一般的義務
第	二	条 児童の定義
第	三	条 最悪の形態の児童労働の内容
第	四	条 児童の健康、安全又は道徳を害するおそれのある業務
第	五	条 条約の実施を監視する仕組み
第	六	条 行動計画の作成

ページ

最悪の形態の児童労働の禁止等に関する条約（第百八十二号）

第七 条 条約の効果的な実施の確保

第八 条 国際的な協力又は援助

第九 条 批准

第十 条 効力発生

第十一 条 廃棄

第十二 条 加盟国への通告

第十三 条 国際連合への登録

第十四 条 理事会の任務

第十五 条 改正

第十六 条 正文

末 文

前
文

最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃のための即時の行動に関する条約（第百八十二号）

国際労働機関の総会は、

理事会によりジュネーブに招集されて、千九百九十九年六月一日にその第八十七回会期（第26次会合）

児童労働に関する基本的文書である千九百七十三年の就業が認められるための最低年齢に関する条約及び勧告を補足するため、国内的及び国際的な行動（国際的な協力及び援助を含む。）の主要な優先事項として、最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃のための新たな文書を採択する（この必要性を考慮し、

最悪の形態の児童労働の効果的な撤廃のためには、無償の基礎教育の重要性並びに児童の家族の必要に注意を向けつつ児童をそのようなすべての業務から引き離し、かつ、児童の回復及び社会への統合を図る）ことの必要性を考慮に入れた即時のかつ包括的な行動が必要であることを考慮し、

千九百九十六年のその第八十三回会期において採択した児童労働の撤廃に関する決議を想起し、

児童労働はその大部分が貧困により生ずるものであること並びにその長期的な解決策は社会の進歩、特に貧困の軽減及び普遍的な教育をもたらす持続的な経済成長にあることを認識し、

千九百八十九年十一月二十日に国際連合総会が採択した児童の権利に関する条約を想起し、

千九百九十八年のその第八十六回会期において採択した労働における基本的な原則及び権利に関する国際労働機関の宣言並びにその実施についての措置を想起し、

最悪の形態の児童労働の中には他の国際文書、特に千九百三十年の強制労働条約及び千九百五十六年の奴隷制度、奴隷取引並びに奴隷制度に類する制度及び慣行の廃止に関する国際連合の補足条約の対象となれていないものもあることを想起し、

その第八十七回会期の議事日程の第四議題である児童労働に関する提案の採択を決定し、

最悪の形態の児童労働の禁止等に関する条約（第百八十二号）

Convention 182

CONVENTION CONCERNING THE PROHIBITION
AND IMMEDIATE ACTION FOR THE ELIMINATION OF
THE WORST FORMS OF CHILD LABOUR

The General Conference of the International Labour Organization,

Having been convened at Geneva by the Governing Body of the International Labour Office, and having met in its 87th Session on 1 June 1999, and

Considering the need to adopt new instruments for the prohibition and elimination of the worst forms of child labour, as the main priority for national and international action, including international cooperation and assistance, to complement the Convention and the Recommendation concerning Minimum Age for Admission to Employment, 1973, which remain fundamental instruments on child labour, and

Considering that the effective elimination of the worst forms of child labour requires immediate and comprehensive action, taking into account the importance of free basic education and the need to remove the children concerned from all such work and to provide for their rehabilitation and social integration while addressing the needs of their families, and

Recalling the resolution concerning the elimination of child labour adopted by the International Labour Conference at its 83rd Session in 1996, and

Recognizing that child labour is to a great extent caused by poverty and that the long-term solution lies in sustained economic growth leading to social progress, in particular poverty alleviation and universal education, and

Recalling the Convention on the Rights of the Child adopted by the United Nations General Assembly on 20 November 1989, and
Recalling the ILO Declaration on Fundamental Principles and Rights at Work and its Follow-up, adopted by the International Labour Conference at its 86th Session in 1998, and

Recalling that some of the worst forms of child labour are covered by other international instruments, in particular the Forced Labour Convention, 1930, and the United Nations Supplementary Convention on the Abolition of Slavery, the Slave Trade, and Institutions and Practices Similar to Slavery, 1956, and

Having decided upon the adoption of certain proposals with regard to child labour, which is the fourth item on the agenda of the session, and

最悪の形態の児童労働の禁止等に関する条約（第百八十二条）

その提案が国際条約の形式を有すべきであることを決定して、

次の条約（引用に際しては、千九百九十九年の最悪の形態の児童労働条約と称することができる。）を千九百九十九年六月十七日に採択する。

一般的義務

この条約を批准する加盟国は、緊急に処理を要する事項として、最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃を確保するため即時のかつ効果的な措置をとる。

第一条

この条約の適用上、「児童」とは、十八歳未満のすべての者をいう。

第二条

この条約の適用上、「最悪の形態の児童労働」は、次のものから成る。

- (a) 児童の売買及び取引、負債による奴隷及び農奴、強制労働（武力紛争において使用するための児童の強制的な徴集を含む。）等のあらゆる形態の奴隷制度又はこれに類する慣行
- (b) 売春、ポルノの製造又はわいせつな演技のために児童を使用し、あつせんし、又は提供する行為。
- (c) 不正な活動、特に関連する国際条約に定義された薬物の生産及び取引のために児童を使用し、あつせんし、又は提供する行為。
- (d) 児童の健康、安全若しくは道徳を害するおそれのある性質を有する業務又はそのようなおそれのある状況下で行われる業務

第三条

1 前条(d)に規定する業務の種類は、関係のある使用者団体及び労働者団体と協議した上で、関連の国際基準、特に千九百九十九年の最悪の形態の児童労働勧告3及び4の規定を考慮し、国内法令又は権限のある機関によって決定される。

2 権限のある機関は、関係のある使用者団体及び労働者団体と協議した上で、1の規定に基づいて決定された種類の業務がどこに存在するかについて特定する。

3 1の規定に基づいて決定された業務の種類を表は、関係のある使用者団体及び労働者団体と協議した上

Having determined that these proposals shall take the form of an international Convention:

adopts this seventeenth day of June of the year one thousand nine hundred and ninety-nine the following Convention, which may be cited as the Worst Forms of Child Labour Convention, 1999.

Article 1

Each Member which ratifies this Convention shall take immediate and effective measures to secure the prohibition and elimination of the worst forms of child labour as a matter of urgency.

Article 2

For the purposes of this Convention, the term "child" shall apply to all persons under the age of 18.

Article 3

For the purposes of this Convention, the term "the worst forms of child labour" comprises:

- (a) all forms of slavery or practices similar to slavery, such as the sale and trafficking of children, debt bondage and serfdom and forced or compulsory labour, including forced or compulsory recruitment of children for use in armed conflict;
- (b) the use, procuring or offering of a child for prostitution, for the production of pornography or for pornographic performances;
- (c) the use, procuring or offering of a child for illicit activities, in particular for the production and trafficking of drugs as defined in the relevant international treaties;
- (d) work which, by its nature or the circumstances in which it is carried out, is likely to harm the health, safety or morals of children.

Article 4

1. The types of work referred to under Article 3(d) shall be determined by national laws or regulations or by the competent authority, after consultation with the organizations of employers and workers concerned, taking into consideration relevant international standards, in particular Paragraphs 3 and 4 of the Worst Forms of Child Labour Recommendation, 1999.

2. The competent authority, after consultation with the organizations of employers and workers concerned, shall identify where the types of work so determined exist.

3. The list of the types of work determined under paragraph 1 of this Article

最悪の形態の児童労働の内容

児童の健康、安全又は道徳を害するおそれのある業務

条約の実
施を監視
する仕組
み

で、定期的に検討され及び必要に応じて改正される。

第五条
加盟国は、使用者団体及び労働者団体と協議した上で、この条約を実施するための規定の実施を監視する
適当な仕組みを設け又は指定する。

行動計画
の作成

第六条
加盟国は、最悪の形態の児童労働を優先的に撤廃するための行動計画を作成し及び実施する。

1 加盟国は、最悪の形態の児童労働を優先的に撤廃するための行動計画を作成し及び実施する。

2 1の行動計画は、関係する政府機関、使用者団体及び労働者団体と協議した上で、適当な場合には他の
関係のある集団の意見を考慮に入れて、作成され及び実施される。

条約の効
果的な実
施の確保

第七条
加盟国は、この条約を実施するための効果的な実施を確保するため、すべての必要な措置（刑罰
又は適当な場合には他の制裁を定め及び適用することを含む。）を講ずる。

2 加盟国は、児童労働の撤廃における教育の重要性を考慮に入れて、定められた期限まで、次のことした
めの効果的な措置をとる。

- (a) 児童が最悪の形態の児童労働に従事することを防止すること。
 - (b) 児童を最悪の形態の児童労働から引き離し、かつ、児童を回復させ及び社会に統合するための必要か
つ適当な直接の援助を提供すること。
 - (c) 最悪の形態の児童労働から引き離されるすべての児童のため、無償の基礎教育及び可能な限り適当な場
合には職業訓練の機会を確保すること。
 - (d) 特別な危険にさらされている児童を特定し、及びこれに援助を与えること。
 - (e) 女子である児童の特別な事情を考慮すること。
- 3 加盟国は、この条約を実施するための規定の実施について責任を負う権限のある機関を指定する。

国際的な
協力又は
援助

最悪の形態の児童労働の禁止等に関する条約（第百八十二号）

第八条

shall be periodically examined and revised as necessary, in consultation with the
organizations of employers and workers concerned.

Article 5

Each Member shall, after consultation with employers' and workers'
organizations, establish or designate appropriate mechanisms to monitor the
implementation of the provisions giving effect to this Convention.

Article 6

1. Each Member shall design and implement programmes of action to
eliminate as a priority the worst forms of child labour.
2. Such programmes of action shall be designed and implemented in
consultation with relevant government institutions and employers' and workers'
organizations, taking into consideration the views of other concerned groups as
appropriate.

Article 7

1. Each Member shall take all necessary measures to ensure the effective
implementation and enforcement of the provisions giving effect to this Convention
including the provision and application of penal sanctions or, as appropriate, other
sanctions.
2. Each Member shall, taking into account the importance of education in
eliminating child labour, take effective and time-bound measures to:

- (a) prevent the engagement of children in the worst forms of child labour;
- (b) provide the necessary and appropriate direct assistance for the removal of
children from the worst forms of child labour and for their rehabilitation and
social integration;
- (c) ensure access to free basic education, and, wherever possible and appropriate,
vocational training, for all children removed from the worst forms of child
labour;
- (d) identify and reach out to children at special risk, and
- (e) take account of the special situation of girls.

3. Each Member shall designate the competent authority responsible for the
implementation of the provisions giving effect to this Convention.

Article 8

最悪の形態の児童労働の禁止等に関する条約（第八十二号）

加盟国は、この条約を実施するに当たり、国際的な協力又は援助、社会的及び経済的な発展、貧困の撲滅計画並びに普遍的な教育のための支援を含む、の強化を通じて、相互に援助を行うための適当な措置をとる。

第九条

この条約の正式な批准は、登録のため国際労働事務局長に通知する。

第十条

- 1 この条約は、国際労働機関の加盟国で自国による批准が国際労働事務局長に登録されたもののみを拘束する。
- 2 この条約は、二の加盟国による批准が国際労働事務局長に登録された日の後十二箇月で効力を生ずる。
- 3 その後は、この条約は、いずれの加盟国についても、自国による批准が登録された日の後十二箇月で効力を生ずる。

第十一条

1 この条約を批准した加盟国は、この条約が最初に効力を生じた日から十年を経過した後、登録のため国際労働事務局長に送付する文書によってこの条約を廃棄する、ことができる。廃棄は、登録された日の後一年間は効力を生じない。

2 この条約を批准した加盟国で、一の十年の期間が満了した後一年以内この条約に定める廃棄の権利を行使しないものは、更に十年間拘束を受けるものとし、その後は、十年の期間が満了するまでに、この条約に定める条件に従ってこの条約を廃棄する、ことができる。

第十二条

1 国際労働事務局長は、加盟国から通知を受けたすべての批准及び廃棄の登録について、すべての加盟国に通報する。

2 国際労働事務局長は、二番目の批准の登録について加盟国に通報する際、この条約が効力を生ずる日につき加盟国の注意を喚起する。

Members shall take appropriate steps to assist one another in giving effect to the provisions of this Convention through enhanced international cooperation and/or assistance including support for social and economic development, poverty eradication programmes and universal education.

Article 9

The formal ratifications of this Convention shall be communicated to the Director-General of the International Labour Office for registration.

Article 10

1. This Convention shall be binding only upon those Members of the International Labour Organization whose ratifications have been registered with the Director-General of the International Labour Office.
2. It shall come into force 12 months after the date on which the ratifications of two Members have been registered with the Director-General.
3. Thereafter, this Convention shall come into force for any Member 12 months after the date on which its ratification has been registered.

Article 11

1. A Member which has ratified this Convention may denounce it after the expiration of ten years from the date on which the Convention first comes into force, by an act communicated to the Director-General of the International Labour Office for registration. Such denunciation shall not take effect until one year after the date on which it is registered.

2. Each Member which has ratified this Convention and which does not, within the year following the expiration of the period of ten years mentioned in the preceding paragraph, exercise the right of denunciation provided for in this Article, will be bound for another period of ten years and, thereafter, may denounce this Convention at the expiration of each period of ten years under the terms provided for in this Article.

Article 12

1. The Director-General of the International Labour Office shall notify all Members of the International Labour Organization of the registration of all ratifications and acts of denunciation communicated by the Members of the Organization.

2. When notifying the Members of the Organization of the registration of the second ratification, the Director-General shall draw the attention of the Members of the Organization to the date upon which the Convention shall come into force.

加盟国へ
の通告

廃棄

効力発生

批准

国際連合
への登録

第十三条

国際労働事務局長は、国際連合憲章第一百一条の規定による登録のため、前諸条の規定に従って登録されたすべての批准及び廃棄の完全な明細を国際連合事務総長に通知する。

理事会の
任務

第十四条

国際労働機関の理事会は、必要と認めるときは、この条約の運用に関する報告を総会に提出するものとし、また、この条約の全部又は一部の改正に関する問題を総会の議事日程に加え、その可否を検討する。

改正

第十五条

1 総会がこの条約の全部又は一部を改正する条約を新たに採択する場合には、その改正条約に別段の規定がない限り、

(a) 加盟国によるその改正条約の批准は、その改正条約が自国について効力を生じたときは、第十一条の規定にかかわらず、当然にこの条約の即時の廃棄を伴う。

(b) この条約は、その改正条約が効力を生ずる日に加盟国による批准のための開放を終了する。

2 この条約は、これを批准した加盟国で1の改正条約を批准していないものについては、いかなる場合にも、その現在の形式及び内容で引き続き効力を有する。

第十六条

この条約の英文及びフランス文は、ひとしく正文とする。

正文
末文

以上は、国際労働機関の総会が、ジュネーブで開催されて千九百九十九年六月十七日に閉会を宣言されたその第八十七回会期において、全会一致で採択した条約の真正な本文である。

以上の証拠として、我々は、千九百九十九年六月十八日に署名した。

最悪の形態の児童労働の禁止等に関する条約（第百八十二号）

Article 13

The Director-General of the International Labour Office shall communicate to the Secretary-General of the United Nations, for registration in accordance with article 102 of the Charter of the United Nations, full particulars of all ratifications and acts of denunciation registered by the Director-General in accordance with the provisions of the preceding Articles.

Article 14

At such times as it may consider necessary, the Governing Body of the International Labour Office shall present to the General Conference a report on the working of this Convention and shall examine the desirability of placing on the agenda of the Conference the question of its revision in whole or in part.

Article 15

1. Should the Conference adopt a new Convention revising this Convention in whole or in part, then, unless the new Convention otherwise provides —

(a) the ratification by a Member of the new revising Convention shall *ipso jure* involve the immediate denunciation of this Convention, notwithstanding the provisions of Article 11 above, if and when the new revising Convention shall have come into force;

(b) as from the date when the new revising Convention comes into force, this Convention shall cease to be open to ratification by the Members.

2. This Convention shall in any case remain in force in its actual form and content for those Members which have ratified it but have not ratified the revising Convention.

Article 16

The English and French versions of the text of this Convention are equally authoritative.

The foregoing is the authentic text of the Convention unanimously adopted by the General Conference of the International Labour Organization during its Eighty-seventh Session which was held at Geneva and declared closed on 17 June 1999.

IN FAITH WHEREOF we have appended our signatures this eighteenth day of June 1999.

最悪の形態の児童労働の禁止等に関する条約（第八十二号）

総会議長

アルハジ・ムハンマド・ムムニ

The President of the Conference.

ALHAJI MUHAMMAD MUMUNI

国際労働事務局長

ホアン・ソマビア

The Director-General of the International Labour Office.

JUAN SOMAVIA

(参考)
この条約は、最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃を確保するため即時のかつ効果的な措置をとること等について定めたものである。

最悪の形態の児童労働の禁止等に関する条約（第百八十二号）